



受付日：平成29年4月12日
受付番号：HP17-KT056

接合部性能試験成績証



東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成29年6月21日

1. 接合金物名称	高耐力偏芯座金付きボルト M12
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	当該座金付きボルトと木材の接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	当該座金付きボルトの木材に対する「めり込み量」及びボルト部の「伸び量」等を測定するための引張試験であり、試験は木材の中心にボルトを通し、ボルトに引張力を与え、座金部を木材にめり込ませる試験とした。詳細は、接合部性能試験報告書第3章に示す。
5. 試験体仕様	1) 接合金物 ^{*1} 「高耐力偏芯座金付きボルト M12」 材 質：座金部;SPHC(JIS G 3131) ^{*2} ボルト部;S45C(JIS G 4051) ^{*3} 寸 法：座金部;90mm×90mm 厚さt=9mm ねじ切りM12 座金の中心から15mmの位置にボルトが取り付け ボルト部;φ10.6mm L=824mm (ねじ部:M12 加力側40mm 座金取付け側24mm) 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM 2 C (JIS H 8610) ^{*4} 「M12ナット」 材 質：強度区分4Tを満足する炭素鋼(JIS B 1181) 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610) ^{*4} 2) 軸組材料 木材: 105mm×105mm×600mm スギ 製材無等級 含水率: 7.5~11.0% 全乾密度: 0.43~0.46g/cm ³ ^{*1} 座金とボルトの取付けは座金が回転しない程度とした ^{*2} SPHC(JIS G 3131)又はSPCC(JIS G 3141)の化学成分を満足する炭素鋼 ^{*3} S45C(JIS G 4051)で引張強さ690N/mm ² 以上を満足する炭素鋼 ^{*4} 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM 2 C(JIS H 8610及びJIS H 8625)以上の防錆処理
6. 試験条件等	木材は、ボルト中心から、木口方向に100mm間隔であけて鋼帯(接触面寸法:105mm×200mm)で強固に緊結した。加力前の初期状態はボルト部を木材の孔(φ18mm)に通し、座金部と木材を密着させた状態とした。このとき、ボルトの初期導入張力はM12ナットを手締めする程度とした。引張加力は加力側のねじ部にM12ナットを取付けた位置で行った。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 34.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター第二試験場: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成29年4月13日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。